
嘘つきは、いてはいけない

うめひじき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

嘘つきは、いてはいけない

【コード】

N5790U

【作者名】

つめひじき

【あらすじ】

短編。嘘つきは怖い、嘘をつかない奴は怖い。そんな話。

「嘘をついたことがあるか？」

この問いに、誰しもが頷くだろう。誰だって嘘をつく。取り繕うのに嘘をつく。自分の気持ちに嘘をつく。誰かを騙すのに嘘をつく。

「俺は嘘をついたことがない。神に誓ってもいい」

ここに一人、そんなことを言う奴がいた。真面目で健全な男だ。私はそれを知っている。

「証拠はあるのか？」

私は問う。その男は答える。

「証拠なんてない。だが、私が嘘をついたことがあるという証拠もないではないか。しかも、そんなことは神に聞けば分かる。さあ聞いてみてくれ。聞けないなら、お前は証拠もなく人を嘘つきだと決めつける奴ということになる」

私は驚いた。酷く正論だ。返す言葉もない。彼は見事に自分が嘘つきではないと証明したのだ。

「そうか、悪かった。私はてっきり、お前が『嘘つき』だと思っていた。なぜなら、今まさに私を刺そうとしているから」

「違う。違うよ。私は私に嘘をつかない。この手に持つ包丁は、その証拠かもしれない。だからその、あれだ。今までありがとう、憎

「かつたよ」

嘘をつかない奴なんていない。いてはいけない。いてほしくない。
だが、そいつは私の目の前にいた。

(後書き)

神の声が聞こえたら、みんなに嘘つきと呼ばれます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5790u/>

嘘つきは、いてはいけない

2011年10月9日10時27分発行